起業家教育を推進する新会社「BioLabs Academy 合同会社」設立について

京都大学と京都大学の子会社である京都大学イノベーションキャピタル株式会社(京都 iCAP)は、世界最大のライフサイエンスインキュベーターである米国 BioLabs 社(以下、 BioLabs)と協働し、日本の研究者やスタートアップ企業を対象とした起業家教育と支援サービスに特化した新会社「BioLabs Academy 合同会社(英文記載:BioLabs Academy GK)」を設立しました。本取り組みは、日本のライフサイエンス・エコシステムにおける革新を継続的に促進するという BioLabs と京都大学のコミットメントを示すものです。

BioLabs Academy は、京都を拠点に京都大学およびその関連機関と緊密に連携しながら、日本全国の大学や研究機関との協働も推進し、ハイインパクトなプログラムと実践的なメンタリングを通じて、起業家精神を持つ研究者の育成を目指します。

BioLabs は、2010 年に米国マサチューセッツ州ケンブリッジで設立され、バイオテック業界の起業家支援において多くの実績を有しています。BioLabs は、現在では米国、フランス、ドイツ、日本において 20 以上の拠点を運営するグローバルなイノベーション・プラットフォームへと成長しました。ボストン/ケンブリッジの LabCentral やサンフランシスコの MBC BioLabs などのパートナー拠点を含め、これまでに 1,200 社以上のバイオテック・スタートアップがこのネットワークの恩恵を受けています。

科学者を対象とした「BioLabs マスタークラス」プログラムでは、2018 年以降、京都、大阪、神戸、東京、北海道などから多くの創業者が参加し、米国バイオテック・エコシステムへのアクセスや国際的なメンター・投資家とのネットワーク構築を実現しており、BioLabs Academy ではこの成果も活用する予定です。

今回の取り組みはライフサイエンス分野におけるイノベーションの再定義に向けた重要なステップです。本取り組みを通して、起業家たちは、戦略的フレームワーク、実務支援、国際的なメンターや投資家ネットワークへのアクセスを得ることができ、世界水準のサイエンスをグローバル市場で通用する事業へと転換させる支援を受けることができます。今後、国

際的なベストプラクティスに基づきながら日本の研究環境に適応した、再現性のあるベンチャー創出の道筋を提供していきたいと考えています。

- ◆BioLabs の創設者兼 CEO であるヨハネス・フルハーフ博士のコメント バイオラボス・アカデミーの設立は、日本との長年にわたる連携における大きな節目です。 教育と能力開発に焦点を当てることで、日本の研究機関から生まれる優れたサイエンスと、 グローバルな事業化の道筋をつなぐことを目指します。
- ◆京都大学 副理事(社会連携・イノベーション推進担当)・成長戦略本部長である室田浩司氏のコメント

本取り組みは、日本のバイオ系スタートアップ・エコシステムを発展させ、関西のみならず 日本全国でグローバルに活躍する起業家を支援するという私たちのビジョンの中核をなすも のです。

◆京都大学イノベーションキャピタル株式会社(京都 iCAP)代表取締役社長である楠美 公 氏のコメント

当社の投資機能と、BioLabs の国際ネットワークおよび運営ノウハウを組み合わせることで、日本と世界をつなぐ、より一体化された効果的なイノベーション・エコシステムの実現に貢献したいと考えています。

◆京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構(iACT)ビジネスディベロップメント室 長、特定教授であり、BioLabs Academy の日本代表を務める小栁智義氏のコメント BioLabs Academy は、ライフサイエンス業界における次世代の起業家育成に重要な役割を 果たします。京都大学をはじめとする諸機関との連携を通じ、実践的なイノベーションと国際的な連携を促進するプラットフォームを構築していきます。

【BioLabs について】

BioLabs は会員制のイノベーション・プラットフォームであり、共有ラボとオフィス空間、 戦略的プログラム、業界パートナーや資本へのアクセスを提供しています。米国、欧州、ア ジアの主要なイノベーション・ハブで展開中。詳細は以下をご覧ください。 www.biolabs.io

【京都大学について】

1897年に創立された京都大学は、自由の学風と最先端の研究力で知られ、多くのノーベル 賞受賞者を輩出しています。スタートアップ創出支援や起業家育成の分野については、成長 戦略本部が主導しています。京都大学の子会社である京都 iCAP と連携協力しながら、スタートアップ・エコシステムの発展をめざしています。詳細は以下をご覧ください。 www.kyoto-u.ac.jp